



第51回 (春期大会)

日本臨床細胞学会総会

新たな半世紀への第一歩をしるす、
細胞診の新しい“かたち”を求めて。

- 会期** 2010年5月29日(土)～31日(月)
- 会場** パシフィコ横浜 (横浜市)
- 会長** 坂本 穆彦 (杏林大学医学部病理学講座)
- 副会長** 小松 京子 (杏林大学病院病理部)



会員懇親会

日時: 2010年5月30日(日) 会場: ロイヤルウイング船上

シンポジウム

- ベセスダシステム導入から1年: みえてきた成果と課題
- ベセスダシステム時代の子宮頸部組織診
(日本婦人科病理学会との合同企画)
- 穿刺生検の普及と乳腺穿刺吸引細胞診
— その有用性の再検討 —
- 細胞検査士の将来展望
- がん幹細胞-癌と間質の相互作用
(日本サイトメトリー学会との合同企画)
- 細胞診はどこまで組織所見を捉えられるか
— 不規則重積と重畳性 — (細胞検査士会要望教育シンポジウム)

特別講演

- 「グローバル化と感染症」
岩本 愛吉 (東京大学医科学研究所 感染症分野教授)
- 「“がん”トランスレーショナル・リサーチの推進」
土屋 永寿 (神奈川県立がんセンター臨床研究所 所長)
- 「チーム医療の実践 — 医療の責任・患者の責任 —」
田上 幹樹 (東京都教職員互助会三楽病院副院長)
- 「ことばと身体」
金田一 秀穂 (杏林大学 外国語学部教授)
- 「AIが拓く社会と医療の未来」
海堂 尊 (放射線医学総合研究所重粒子医学センター)
Ai情報研究推進室室長

国際フォーラム

海外で活躍する日本発の細胞診専門家

アジアフォーラム

Current Status and Future Problems of Cytology
in Asian Countries

その他にワークショップ、教育講演、医療安全セミナー、バーチャルスライドカンファランス等も予定しています。

演題募集期間

2009年 10月20日(火) 正午 ~ 12月3日(木) 正午

詳しくは下記URLへ... GO ON

<http://www.gakkai.co.jp/jsc51/>

事務局: 杏林大学 医学部 病理学講座 菅間 博・藤原 正親・海野 みちる 〒181-8611 東京都三鷹市新川6-20-2 eMail: jsc51@ks.kyorin-u.ac.jp Tel: 0422-47-5511 (代) 内線3420 Fax: 0422-40-7093